

平成26年度 SSR 産学戦略的研究フォーラム
「大規模複雑な自己適応システムの適応進化
制御手法に関する調査研究」
論文調査ミーティング

電気通信大学 田原 康之
2015/1/16

議事次第

1. 進捗報告

2. 論文調査のまとめ方(案) 田原

3. 意見交換 出席者全員

論文調査のまとめ方(案)

- ▶ 前回ミーティングの意見を元に作成
- ▶ 次の2つの方向
 1. 調査担当者自身の研究への発展を目指す方向
 - 担当者のモチベーションを上げるため
 - 広い意味での自己適応システム技術の調査としての位置付け

論文調査のまとめ方(案)

2. 事例調査の結果を踏まえ、教訓への活用により現実の問題事例の解決を目指す方向

- ただし事例調査の結果を待つ時間は少ないので、できれば担当者自身で事例調査と論文調査を同時に進める
- 田原が率先して進める予定

(参考)事例調査の進め方(案)

- ▶ 前回ミーティングの意見を元に作成
- ▶ IPA 発行の2部の教訓集に記載の各教訓に対し、次の観点で分担して調査
 - 教訓集は Google ドライブ内の「事例調査」フォルダに配置
- 1. 各教訓の詳細を、できれば自身の業務や研究分野に照らして把握
- 2. 可能であれば、自己適応システム技術の適用可能性を検討